

—だれもが安心して暮らせる地域社会を支えるために—

福祉人材戦略フォーラム

2023
9/9

[sat]

12:00 start

開催
場所

東京大学工学部11号館1階

HASEKO - KUMA HALL

金間 大介氏



金沢大学総合研究域融合科学系教授
東京大学未来ビジョン研究センター客員教授

道念 由紀氏



厚生労働省 社会・援護局 総務課
地域福祉課地域民生社会政策室主任
社会福祉専門官

櫛田 彩子氏



社会福祉法人みねやま福祉会
人材戦略室 主任

徳本 知穂氏



社会福祉法人みねやま福祉会
人材戦略室 採用担当

山下 幸宏氏



社会福祉法人みさきざき会
高齢者ケアセンターつどうホール施設長
法人リクルート戦略部長/社会福祉士/介護福祉士
介護支援専門員

松原 由美氏



早稲田大学 人間科学学術院 教授
社会保障審議会 委員

高師 利紗氏



社会福祉法人福祉会団
コーポレート統括部 人事部 採用・育成課 課長

遠藤 黎氏



社会福祉法人若竹大寿会法人本部
採用センター 新卒担当

西原 国明氏



中高年事業団やまて企業組合 人事部長
社会福祉士

野澤 和弘氏



福井大学大学院学長(教授)
一般社団法人スローコミュニケーション代表
毎日新聞客員編集委員

山田 英治氏



社会の広告社 代表取締役
クリエイティブディレクター

森田 英誠氏



株式会社リクルート
HRエージェントDivision
HELPMAN JAPANグループ

若者に向けた福祉の
魅力発信を考える。

2023年9月9日（土）
福祉人材戦略フォーラム
開催報告 & 魅力発信メモ

01_開催概要

概要・目的	福祉の若手人材確保に取り組むFACE to FUKUSHIが開催する、 これからの「福祉人材」についての話をする福祉人材戦略フォーラム。 6年ぶりの開催となる今回のテーマは若者に向けた「福祉の魅力発信」。 特に、福祉の未来を担う若者に向けて、福祉の魅力発信には何が求められているのか。どう在るべきなのか。 多様な実践をおこなっているゲストを招いて、 ・「イマドキの若者」について理解を深める ・在学中の学生に向けた福祉の学びに関するアプローチについて考える ・新卒採用における魅力発信について考える ・今後の福祉業界の魅力発信において求められること・在り方等について、参加者のみなさまと深める機会とする。
開催日時	2023年9月9日（土） 12:00開始
開催場所	東京大学工学部11号館1階 HASEKO-KUMA HALL
参加人数	100名
参加費	2,000円（交流会参加の場合は+4,000円） ※学生割引あり

02_プログラム

オープニング

「イマドキ」の若者の解像度を上げる

今、若者にどのような変化が起きているのか？
Z世代とも呼ばれる若者に起きている変化や価値観を、「先生、どうか皆の前でほめないで下さい」の著者を招いて伺います。

プログラム①

大学生への福祉の本質的思考・実践的学びのアプローチを考える

大学生の教育カリキュラムは「資格取得」を重んじているという懸念があります。
資格取得はもちろん重要ですが、大学教育における福祉の本質的思考をはぐくみ、実践的な学びを軽視するものではあってはならないと考えます、これらは大学がすべて担うものでもなく、現場にすべてを託すものでもない。
大学教育における大学と現場の協働による、多角的なアプローチについて、実践事例を交えながら議論を展開します。

プログラム②

福祉の新卒採用における魅力発信について考える

福祉の就活も早期化・多様化している中で、福祉の未来を担う人材採用に向けて福祉法人の人事を招いて、採用PRの中で大切にしていることや、課題感なども伺いながら福祉の魅力発信について考えます。

プログラム③

これからの福祉の人材確保・魅力発信の在り方について

福祉業界の魅力発信に取り組む様々な立場のスピーカーと共に、今後の福祉の人材確保・魅力発信の在り方、これから大切にしたいスタンスについて、考えます。

クロージング

オープニングからプログラム③までの振り返り及び総括セッション

03_オープニング

かなま だいすけ

金間 大介氏

金沢大学融合研究域融合科学系教授
東京大学未来ビジョン研究センター客員教授



北海道生まれ。横浜国立大学大学院工学研究科物理情報工学専攻(博士(工学))、バージニア工科大学大学院、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、文部科学省科学技術・学術政策研究所、北海道情報大学准教授、東京農業大学准教授などを経て、2021年より現職。博士号取得までは応用物理学を研究していたが、博士後期課程中に渡米して出会ったイノベーション・マネジメントに魅了される。それ以来、イノベーション論、マーケティング論、モチベーション論等を研究。主な著書に『先生、どうか皆の前でほめないで下さい: いい子症候群の若者たち』(東洋経済新報社)、『イノベーション&マーケティングの経済学』(中央経済社)など。



当日の様子



- 「外したくない」「失敗したくない」という意識が強い
 - 「現役で活躍している人」の話を聞きたい
 - 人材育成では週2回くらい、軽く声をかける距離感
 - 「学生」とまとめて小手先で意識を変えることは難しい
- 「たった一人」を捕まえるつもりで、
この「仕事の魅力」を語ることが重要



04_プログラム①

大学生への福祉の本質的思考・実践的学びのアプローチを考える

どうねん ゆ き

道念 由紀氏

厚生労働省 社会・援護局 総務課
地域福祉課地域共生社会推進室併任
社会福祉専門官



ケアミックス型病院のメディカル・ソーシャルワーカー、介護老人保健施設の支援相談員、地域包括支援センターの社会福祉士として、主に高齢者福祉の領域においてソーシャルワーク実務経験を積む。その後、上智大学総合人間科学部社会福祉学科博士後期課程に進学、同学科助教としての勤務経験を経て、2019年4月より現職(2021年4月より地域福祉課地域共生社会推進室併任)。入省後は、福祉基盤課福祉人材確保対策室、生活保護課、地域福祉課地域共生社会推進室にて局内横断的な業務に取り組む。専門はソーシャルワーク論。社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員の資格取得。

くしだ あやこ

櫛田 彩子氏

社会福祉法人みねやま福祉会
人材戦略室 主任

大阪府出身。近畿大学を卒業後、社会福祉士の資格を取得するために日本メディカル福祉専門学校に。社会福祉士と手話通訳士を取得後、障がい者施設に勤務しながら手話通訳活動を経験。2010年に夫の地元京丹後に移住し、2013年にみねやま福祉会に入職。プライベートでは4人の子育てに奮闘中。



とくもと ちいほ

徳本 知穂氏

社会福祉法人みねやま福祉会
人材戦略室 採用担当

京都府京都市出身。京都造形芸術大学子ども芸術学科卒業。宇治市の認定子ども園で保育士として勤務。結婚を機に京丹後市に移住後、2018年みねやま福祉会に入職。乳児院も経験する。



やました ゆきひろ

山下 幸宏氏

社会福祉法人みささぎ会
高齢者ケアセンターつどうホール施設長
法人リクルート戦略部長/社会福祉士/介護福祉士
介護支援専門員



平成13年より、同法人にて介護職員、生活相談員、施設ケアマネ、SW、実習指導者、介護施設立ち上げなどを経験。平成24年に特別養護老人ホームの施設長に就任。社会福祉士・介護福祉士養成校の講師活動や、地域の小中学生への福祉教育など、次世代の福祉人材育成にも力を注いでいる。

- 厚生労働省道念様：社会福祉士等の養成過程を取り巻く状況について
- みねやま福祉会様：インターンシップを単発で終わらない工夫やリアルな現場の魅力発信に力を入れ内定者の9割がインターン経験者となった。
- みささぎ会山下様：実習の丁寧な受け入れ、振り返りやフィードバックに力を入れることで新卒採用者の7割近くが実習経由である。
- モデレーター大原：大学での養成の在り方の見直しや、大学教員と施設の密な連携、ICT等の活用をした遠隔地での実習や接点づくりも今後必要。

事務局

メモ

05_プログラム②

福祉の新卒採用における魅力発信について考える

まつばら ゆ み
松原 由美氏



早稲田大学 人間科学学術院 教授
社会保障審議会 委員

1994年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了
1996年 明治生命フィナンシャル研究所(現明治安田総合研究所)入社、主席研究員、研究部長を経て、2016年より早稲田大学
主な著書・論文
松原由美「社会保障と非営利組織としての病院経営をめぐる神話の検討」『病院』82巻1号2022年12月号
松原由美「社会福祉法人と経営」『月刊福祉』2022年1月号

たかし り さ
高師 利紗氏



社会福祉法人福祉楽団
コーポレート統括部 人事部 採用・育成課 課長

1994年、神奈川県生まれ。国際基督教大学教養学部(公共政策メジャー)卒業。2018年、社会福祉法人福祉楽団に新卒で入職。翌年から新卒採用を担当。戦略立案から運営まで採用業務全般を担う。自社の特長を生かしたPRや、学生とのマッチングを重視した採用戦略で、200名以上のインターン・説明会参加、30名の採用を実現している。趣味はドライブと居酒屋めぐり。

えんどう れい
遠藤 黎氏



社会福祉法人若竹大寿会法人本部
採用センター 新卒担当

1997年、東京都立川市出身。社会福祉士の資格取得を目指し早稲田大学人間科学部で学ぶ。2019年に新卒として社会福祉法人若竹大寿会に入職。介護老人福祉施設にて3年間の実務経験を経て介護福祉士を取得。2022年7月から新卒の採用業務に従事。現場経験を活かし、「人と直接関わる」、「人の生活に寄り添う」という福祉・介護の仕事の面白さややりがい伝えることを大切にしている。趣味は美術館巡りとお散歩。

にしはら くにあき
西原 国明氏



中高年事業団やまて企業組合 人事部長
社会福祉士

学生時代に人的資源管理論について学ぶ。卒業後、ジュエリーデザイナーとして就職し、人事コンサル会社を経て中高年事業団やまて企業組合に入社。児童虐待問題をきっかけに、日本にも支援を必要としている人がいることを知る。相談員として様々な生活困窮者支援に携わり、これまでの現場経験を活かしながら採用教育を行っている。相談業務のやりがいや厳しさ、相談員として大切なことを伝えられるよう心がけている。

- 福祉楽団：「何を」「いつ」「どう」伝えるかを細かく設計している。中でもペルソナ設定は重要で、伝えたい相手に伝えたいことを絞り、貫く。
- 若竹大寿会：法人理念や想いを伝える採用に重点を置く。職員に浸透させるための取り組みに注力。現場経験を活かして介護職の魅力を伝えていく。
- やまてグループ：「内定通知はプロポーズ」と見立てて、採用プロセスを設計。採用規模を拡大していくうえで、新人教育を行うメンターの育成が課題。
- モデレーターの早稲田大学松原先生：松原ゼミでの魅力発信の取り組みで動画制作等を行う



06_プログラム③

これからの福祉の人材確保・魅力発信の在り方について

のざわ かずひろ

野澤 和弘氏

植草学園大学副学長(教授)
一般社団法人スローコミュニケーション代表
毎日新聞客員編集委員



1959年 静岡県熱海市生まれ

1983年 早稲田大学法学部卒業

// 毎日新聞入社 東京社会部/夕刊編集部長/論
説委員など歴任

2016年 一般社団法人スローコミュニケーション代表

2019年 毎日新聞退社 毎日新聞客員編集委員就任

2020年 植草学園大学副学長(教授)

やまだ えいじ

山田 英治氏

社会の広告社 代表取締役
クリエイティブディレクター



博報堂入社後、コピーライター、CMプランナーをへて独
立。脚本家、映画監督、構成作家、イベントプロデュ
ーサーなど多岐にわたる活動を展開。環境省、厚生労働省
などの官公庁の広報や様々なNPO・NGOの広報戦略
を担当。社会福祉HERO'S プロデューサー
受賞暦:ACC賞、環境コミュニケーション賞、読売広告
賞、宝塚映画祭グランプリ、国際グリーンイメージ賞他

もりた ひであき

森田 英誠氏

株式会社リクルート
HRエージェントDivision
HELPMAN JAPANグループ



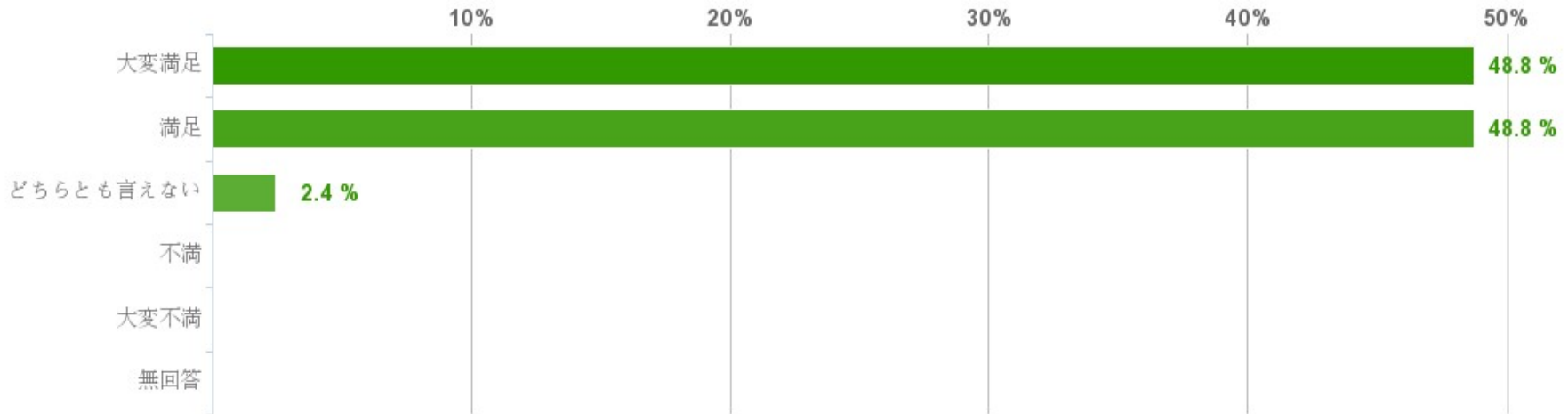
金融機関にて法人営業、金融商品の開発業務を経験
した後、2017年 現)株式会社リクルート入社。
中途人材採用領域にてキャリアアドバイザーとして、
プレイヤー、マネージャーを担当。2022年より
HELPMAN JAPANに参画。事業計画の策定、業界
分析を担当し、介護業界の人材確保に向けて採用力、
定着力強化に向けた取り組みを推進中。

- コメンテーターとして、厚生労働省 人材確保対策室室長の吉田昌司様をお迎えした。
- 野澤様：東京大学「障害者のリアルに迫るゼミ」での事例紹介。若者の生きづらさと福祉はつながる部分もあり、福祉の役割と可能性がある。
- 山田様：福祉は若者にウケるはず。ケアの質と発信力は比例すると考えている。広告にブランド戦略をもつことが大切。
- 森田様：人材定着と人材確保は密接に関係している。職場の良好な人間関係を構築することで、定着力も採用力も高まっていく。



07_アンケート回答

フォーラムの満足度について



- 回答数は41件
- 大変満足+満足が97.4%
- 満足度の理由
 - 登壇者のどなたもその立場に応じて、福祉の魅力発信についてお話されていて、共通のテーマや将来への課題が浮き彫りになった。
 - リアルな学生・先生・職員の声を聴くことができ、刺激ある具体的な取り組みを知ることができた。



一般社団法人FACE to FUKUSHI

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第一ビル4階106

TEL 06-4799-0108

営業時間 10:00-18:00（土日祝日を除く）

コーポレートサイト：<https://f2f.or.jp/>



FACE to FUKUSHIの公式チャンネル



新卒向け福祉就職フェア「FUKUSHI meets!」の紹介や、
フェアに出展している全国の福祉法人のPRムービーなどが視聴できます。